



木 崎 地 区

自主防災組織
協議会主催

防 災 訓 練

みなさんは、災害への備え、できていますか？
防災訓練は、安心して避難するために
欠かせない取り組みです。
地域全体で協力し、日頃から備える
ことで、いざという時に命を守る力に
なります。



区長会：ポリ袋でご飯を
炊きます



煙体験ハウス



水消火器で消火訓練



ミニ消防車体験

令和6年11月24日(日)、木崎行政センターと木崎上町会館で防災訓練が実施されました。

区長会、女性防火クラブ、消防団、消防本部、木崎行政センターなどの運営スタッフの協力により、参加者は防災技術や知識を学び、地域の防災意識を高める貴重な機会となりました。訓練を通じて、運営スタッフも地域防災の重要性を再確認しました。

防災訓練は年に一度の機会ですので、次回は来年の実施となります。防災意識を高め、災害に備えるためにも、ぜひご参加ください。

地域のお宝発見 ～太田市生活支援体制整備事業～

～参加されたみなさんにお話しを伺いました～



区長会のみなさん

自主防災組織協議会
会長（区長会長）
山根親雄

炊き出し訓練では、実際の災害時に対応できるよう、かまどに窯を置き、ポリ袋を使って米を炊きました。この方法では約30分で炊き上がりました。また、ダンボールベツドの組み立ては以前より簡単になり、参加者から好評を得ました。訓練には62名の大人と子どもたちが参加し、災害時に備えて今後も多くの住民に参加を呼びかけていく予定です。



女性防火クラブのみなさん

木崎支部女性防火クラブ
支部長 櫻井馨

現在15名のメンバーがいますが、当日は10名が参加しました。炊き出し訓練や煙体験ハウス、水消火器訓練をサポートしました。炊き出し訓練では、温めたレトルトカレーを区長会が炊いたご飯にかけて提供し、水消火器訓練では本物の火を再現して実践的な訓練を体験していただだけました。次回はさらに多くの方々にご参加いただけることを楽しみにしています。



家族で参加された五十嵐さんは、避難所で活躍するダンボールベッドを体験し、その丈夫さに感心していました。



太田市消防団第12分団のみなさんは、ミニ消防車の乗車体験を行い、参加した子どもたちは大喜びでした。



区長会と女性防火クラブが協力し提供されたカレー。無料で参加者にふるまわれました。



まとめ

近年、大きな地震や台風などの災害が増える中、自主防災組織の重要性が再認識されています。今回の訓練を通じて、地域の防災力が高まり、住民同士のつながりがより一層深まったと感じました。

